

ヒープ 協議会

2025年度新体制、活動スタート

鈴木聖子さんが代表理事再任



鈴木聖子代表理事

企業の消費者関連部門などで働く女性たちで作る一般社団法人・日本ヒープ協議会(東京都渋谷区)は四月一八日、定時社員総会を開き、二〇二五年度の新体制をスタートさせた。鈴木聖子代表理事(明治安田生命保険)の再任を承認したほか、二〇二四年度に引き続き、活動テーマに「持続可能な社会を共創する」生活者とともに歩む、持続可能な社会の実現に向けて「」を掲げて活動していくことを決めた。

当日はホーラ前代表取締役社長の及川美紀さんによ

る公開講演会も行われ、公演前に挨拶した鈴木聖子代表理事は「二〇二四年度に引き続き二〇二五年度の代表理事となるが、初心に戻り、ヒープ協議会の進展に尽力していく」と語った。

ヒープ協議会は二四年度の活動実績についても報告した。対面とオンラインによる月例研究会を計二回開催したことや、お客様対応を考える分科会と生活者共創分科会を実施したこと、行政の会議・委員会への参画も積極化させ、内閣府男女共同参画推進連携会議や消費者庁消費者志向経営推進組織、同庁デジタル社会における消費者取引研究会などに参画したことを紹介した。

四月一日現在の正会員は三四社、賛助法人会員は一八社、副代表理事は島田絵美さん(三菱自動車工業)、理事は小林奈巳さん(都恋堂)となる。

鈴木聖子代表理事は二四年度活動について「生活者とともに歩む持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行うとともに、会員一人ひとりが世の中の変化に柔軟に対応できる力を身に付けることで、新たな社会課題の解決に貢献できるよう活動を行ってきた」と振り返った。

今年度の活動については「『持続可能な社会を共創する』を活動テーマとして、会員だけでなく、ヒープに関わる多様な人たちとの出会いを大切にしながら、ヒープの強みである生活者視点と経営視点の双方を発揮することを目指し、活動していく」と挨拶した。